

授業と評価の年間計画

教科	芸術	科目	音楽 I
使用教科書(発行所)	高校生の音楽 1 (教育芸術社)		
履修条件 対象生徒	選択必修 普通科・理数科 1 年		
学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。		
学習方法	<p>【授業】 表現活動（歌唱、器楽、創作）、鑑賞の分野において、基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身に付ける。 表現意図をもって歌唱、器楽、創作で音楽表現したり、価値を判断しながら味わって聴いたりする力を伸ばしていく。</p> <p>【家庭・補習・その他】 授業時間内で完成できる課題がほとんどである。期限に間に合わない場合は家庭もしくは放課後を利用して課題を完成させる。</p>		
学習計画 と ねらい	<p>1 1 学期 (1) 学期末考査まで ア 校歌  イ 歌唱（日本の歌曲）  ウ 音楽の歓び</p> <p>2 2 学期 (1) 学期末考査まで ア 器楽  イ 合唱</p> <p>3 3 学期 (1) 学年末考査まで ア 日本の伝統音楽  イ 創作</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 年間の音楽の授業内容や、授業を受ける上での注意点などについて説明する。</li> <li>・ 歌詞の意味を理解し、表現活動に必要な発声の基礎技術を身に付ける。</li> <li>・ 日本や世界の歌、楽器の音色の特質や雰囲気を感じ取り、音楽の多様性を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽器の音色や特徴を生かすための技能を身に付ける。</li> <li>・ 声をあわせることを生かした表現活動を心掛け、ハーモニーの美しさを感じ取る。</li> </ul>
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
評価方法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価規準をもとに、単元ごとの確認テスト、実技テスト、授業態度、課題・提出物を総合的に判断して評価する。		
その他			